

## 「産業デジタルリスキリング推進事業」業務委託仕様書

### 1 目的

県内事業者のデジタル化を加速させるには、経営者層の理解が不可欠であるとともに、社内においては、実施主体としてプロジェクトを推進するリーダーの育成とデジタルの視点を持って改善すべき業務を提案する従業員の育成が必要である。

このため、当事業において、これらの階層毎に必要なとされるデジタル技術等の研修を行い、社内でデジタル化を推進する人材の育成を行うことで、県内産業の底上げを図る。

### 2 業務の名称

産業デジタルリスキリング推進事業

### 3 委託期間

契約の日から令和7年3月14日まで

### 4 委託業務の内容

#### (1) デジタルリスキリング講座の実施

以下の3階層を対象に、デジタルの活用を前提とした業務プロセスの見直し手法や自社課題の整理方法、既存のデジタルツールの紹介などの複数回の連続講座を開催する。なお、対象は、特定の産業分野に限らず、全産業分野とすること。

##### ① 経営・マネジメント層向け

- ・定員：50名程度
- ・デジタル実装に向けて事業戦略を構築できる人材を育成する。
- ・対面を基本とする。
- ・座学と実践（グループワークによる課題学習）を組み合わせる。

##### ② デジタルリーダー向け

- ・定員：60名程度
- ・社内のデジタル実装を主導できる人材を育成する。
- ・対面とオンライン（ライブ又はオンデマンド）を組み合わせる。
- ・座学と実践（課題学習）を組み合わせる。
- ・実践では、Excelを用いたデータ分析手法など、実務で使えるスキルが身に付く内容とする。

##### ③ 一般従業員向け

- ・定員70名程度×2期(※1)
- ・デジタルの視点を持って業務改善に取り組むことができる人材を育成する。
- ・オンライン（ライブ又はオンデマンド）を基本とする。
- ・座学と実践（課題学習）を組み合わせる。
- ・実践では、ノーコードツールを用いたアプリ作成の手順など、業種を問わず、多くの現場で導入し易い技術を学習テーマとする。

### 【共通事項】

- 多くの事業者が興味を持ち、かつ受講し易いカリキュラム（内容、講座形式、期間、時間、回数）となるよう工夫すること。
  - 県内企業のDX事例を紹介する講座を1回以上設け、受講意欲を高めること。
  - 補助金等の支援制度の紹介を講義内容に含め、DX実装を促すこと。
  - オンデマンド学習を実施する場合には、受講の進捗管理が可能な学習管理システムを用いること。
  - 受講生の募集にあたっては、できるだけ多くの県内事業者に周知できるように、効果的な広報のあり方について十分に検討し、企画提案書にその内容を明記すること。
  - 各講座において、一定の習熟度を担保するため、例えばデジタルリーダー向け講座では、自社のデジタル化計画の作成を支援するなど、学びの成果が見えるような取組を行うこと。
  - 本研修修了後も継続して学習できるよう、マナビDX<sup>(※2)</sup>等の講座を分析し、各階層の受講生が学びを継続するための指針を提案すること。
  - 受講料及びテキスト代は無料とすること。
  - 一定の基準を満たした者には、修了証を発行すること。
- (※1) 定員70名程度の研修を前期と後期に分けて2回開催すること。
- (※2) <https://manabi-dx.ipa.go.jp/>

(2) その他、本事業の実施に伴い必要と認められる業務

## 5 その他

- (1) 受託者は、県に提出した事業計画書等に基づき、適切に業務を実施すること。
- (2) 受託者は、事業計画書等を変更する必要がある場合は、県と協議の上、変更の承認を受けること。
- (3) 受託者は、業務を企画運営するに当たり、県と十分な調整を行うこと。
- (4) 本仕様書の内容について疑義が生じた場合、又は本仕様書に定めのない内容については、県と受託者で協議の上、定めるものとする。